Creative Enzymes®

ネイティブラッセルのマムシ毒因子V活性化酵素

Cat. No. NATE-0249

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	RVVの因子V活性化剤にはフコース、マンノース、ガラクトース、グルコサミン、神□アミノ酸が含まれています。RVVからの因子V活性化酵素は、ジイソプロピルフルオロリン酸（DFP）に敏感なアルギニンエステラーゼです。
用途	ラッセルのマムシの毒（RVV）からの因子V活性化酵素は、血液の迅速な凝固に関与する単鎖糖タンパク質です。因子Vは血液中で不活性な補因子として循環しており、RVVからの因子V活性化酵素のようなプロテアーゼによって活性化される必要があります。この製品は、血液凝固カスケードの研究や、パラヘモフィリアと呼ばれる遺伝性欠乏症の研究に役立つ可能性があります。
別名	EC 3.4.21.95; ファクターV活性化酵素; ヘビ毒ファクターV活性化因子; 65522-14-7; ファクターV活性化因子

製品情報

由来	ラッセルのマムシの毒
形態	凍結乾燥粉末; アルブミンと塩化ナトリウムで安定化されています。
EC番号	EC 3.4.21.95
CAS登□番号	65522-14-7
活性	20ユニット/mgタンパク質
単位定義	1ユニットは、37°Cで3分間インキュベートした後、0.1 mLの新鮮な正常ヒト血漿中のファクターV活性を少なくとも2倍□加させます。

保管・発送情報

保存方法	−20°C